



志岐小通信 鹿隣泉の風

校訓「かしこく」「やさしく」「たくましく」

令和5年度 5月19日 第2号 文責：栗原 克浩

自分達の力でより良い学校づくりを！ 「3年ぶりの対面 児童会総会」



3年ぶり、対面による児童会総会を実施しました。全児童の一体感を育み表現力が育成されました。児童会活動は、大きな成果がありました。児童会活動は、学校をより良くするために、自分で工夫し進んで取り組む活動のこで実践です。大切なことは、全校児童で協力して共通の目標とそれを達成するための取組について下の提案がありました。

【運営】「廊下を歩こう運動」の取組を通して、みんながきまりを守り笑顔あふれる学校にする。【環境】「一人一鉢」の取組を通して、ゴミのない、花のあふれる志岐小にする。【図書】「図書の貸し出し冊数の赤白対決」の取組を通して、本が好きになり全校児童で16780冊を読破する。【健康】「目のクイズ、環境整備」の取組を通して、運動と健康づくりに励む。【放送】「七夕・クリスマスメッセージ」の取組を通して、みんなが分かり合い、仲良くできる志岐小にする。

各委員会の提案、学級代表のめあて発表等、いずれも質が高く発表態度も良く、事前練習が十分な素晴らしいものでした。児童会活動においては、高学年を中心に自治性を発揮して、児童の主体的な取組を通してより良い学校づくりを期待します。

『春のお話会』大成功！ ～本の楽しさを知るきっかけに～

昨年度の志岐小児童の課題に「読書量の増進」がありました。読書が大切だと知っているがその楽しさに気づかず、読書にやや消極的であるという現状が見られます。たんぽぽホールさんによる「春のお話会」を通して、本の楽しさを教えていただきました。「ペープサート：3びきのやぎのがらがらどん」、「読み聞かせ：おこだでませんように」、「人形劇：へっこきあねさがよめにきて」という3つのお話が紹介されました。



人形の動きと息づかい、臨場感を高める背景画、尺八による効果音、そしてお一人お一人の個性あふれる語り口等、対面によりその効果が一層高まり、児童はお話の世界に引き込まれ、時間の経つのも忘れ聴き入っていました。

読書は心と頭の栄養です。優しい心、感動する心、時には夢を持つことにもつながります。知識が増え、思考力と判断力が育ち、正しく幸せに生きることにもつながります。本の楽しさに気づくきっかけとなった「春のお話会」を通して、今後とも本により親しんでくれることを願っています。

最終目標 自立の力の育成！ ～運動会を通して～

いよいよ運動会本番を迎えます。「最後まで力を合わせ 140人の笑顔いっぱい 天草一の運動会」という今年のスローガン達成に向けて頑張ってきました。目指すところは、単にダンスが上手に踊れる等という一次的な目標ではありません。運動会という大きな行事を通して、今年度の最終目標である「自己肯定感・絆・規範意識」という自立の力の育成をしっかりと図りたいと思います。

【学校教育目標】

「自分大好き、友だち大好き、志岐小大好きと笑顔でいえる子どもを育てる」

～ふるさと『志岐』を愛し、地域に積極的に貢献する人材の育成～

「自分の命は、自分で守る！」

「自分の命は自分で守る」地震津波避難訓練と交通教室の共通テーマです。世界の地震大国10ヶ国に入る日本では、小さい地震なら毎日起きているほどです。児童のみの滞在時の地震発生の可能性もあります。自分の命は自分で守ることが必要です。地震発生の想定で、役場の広場



への避難を真剣に行いました。落下物による被害防止のために屋外への避難、そして時速50kmの津波から身を守るために高いところへの垂直避難が重要です。

天草においても交通事故の発生が多く見られ、いつだれの身に起きるか分からず、自分事として危機意識を持つことが重要です。天草警察署員の方を講師に、事故発生の可能性を考える危険予測学習や横断歩道の渡り方の実技指導を行いました。腹話術を交えた児童を引き込むお話に楽しみながら学びました。

年度初めの大切な安全教育を通して、「自分の命は自分で守る」意識と態度が高まりました。

【6月の行事予定】

虫歯の治療、早めをお願いします！

4月の虫歯保有率は、18.8%で昨年度よりやや増加していました。永久歯の虫歯は少なく、乳歯の虫歯が多い傾向にありました。「もうすぐ抜けるので虫歯の乳歯は放置する」というのは間違いで、永久歯に悪影響を及ぼすと言われます。医療費は無料です。初期の虫歯は少ない回数で終わります。自然治癒できるか等と違い、虫歯は治療でしか治す方法はありません。歯科検診結果は内科検診と合わせて5月中に配付予定です。口腔内の治療が必要な場合は、是非早めの受診をお願いします。



【コロナ禍の出口で模索】

コロナ5類引き下げに伴う感染対策や出席停止等については、お知らせしたとおりです。コロナ禍の出口にあたり、「コロナ前にもどす」と「コロナ禍での変更を継続するもの」を適切に選択していく必要があります。その基準が費用対効果です。労力がなくても効果あるものには取り組み、効果の低いものはスリム化の方向で考えます。とにかく努力が児童の育成にストレートに結びつくように校務改革を図りたいと思います。

1	木	心のきずなを深める月間 体力テスト
2	金	1年給食試食会
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	クラブ活動
7	水	
8	木	毛筆指導6年
9	金	毛筆指導5年 学校開放デー 租税教室6年
10	土	
11	日	
12	月	風水害避難訓練
13	火	不審者避難訓練 クラブ活動
14	水	
15	木	
16	金	児童集会(健康委)
17	土	
18	日	
19	月	身体測定週間 縦割り掃除～6/30 毛筆指導4年 毛筆指導3年
20	火	
21	水	
22	木	知能検査1・3・5年
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	『命を大切にする心』を育む週間
27	火	毛筆指導6年 委員会活動
28	水	
29	木	毛筆指導5年
30	金	授業参観 学級懇談会